平成 28 年度体力･運動能力、運動習慣等調査結果について

千早赤阪村立赤阪小学校

【調査実施状況の概要】

■対象：全国の小学校５年生及び中学校２年生の全児童生徒（特別支援学校、義務教育学校、中等教育学校の相当学年を含む）

■調査内容：〇実技に関する調査

〇児童生徒及び学校に対して、運動習慣や生活習慣についての質問紙調査

■小学校対象の実技種目

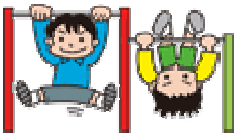
体力テスト種目	単位	体力要素	測定
握力	kg	筋力	左右握力の平均値
上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30 秒間に上体を起こした回数
長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
反復横とび	点(回数)	敏捷性	20 秒間に両足で左右側方に反復跳躍した回数
20ｍシャトルラン	回	全身持久力	20ｍ走行の折り返し回数
50ｍ走	秒	疾走能力	50ｍの疾走時間
立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
ソウフトボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離

本校では、第５学年の児童を対象に、本年度のスポーツテスト（５月）において、上記種目の実技調査及び運動習慣や生活習慣についての質問紙調査を実施しました。この度、その調査結果が文部科学省から送付されましたので、結果概要についてお伝えします。

また、個人記録結果については、第５学年児童一人一人に個表として返却いたします。

なお、村立小中学校の結果概要は、村広報（３月号）に掲載されます。

（お願い）結果概要等については、男子、女子別の平均値を全国の平均値と比較しながらお伝えします。しかし、質問紙調査も含め、本校の調査対象児童数は極めて少なく、その概要がそのまま学校の傾向を表すとは言えませんので、ご理解願います。ただし、学校としては調査結果を充分に参考としながら、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。



（実技結果の比較の表現方法）

・文部科学省からのデータ結果の中で、全国平均を「50」とした「Ｔ得点」というポイントが表されていますので、そのポイント差の全国平均との比較でお知らせします。

実技（体力テスト）結果より

【男子】全ての種目結果を合計した体力合計点は全国を約５ポイント上回っています。種目別では、「反復横とび」「20ｍシャトルラン」「50ｍ走」「立ち幅とび」が５ポイント以上上回っており、「長座体前屈」も若干上回っています。「握力」「上体起こし」「ソフトボール投げ」については、約１ポイント下回っていますが、ほぼ、平均と考えられます。

【女子】全ての種目結果を合計した体力合計点は全国を若干下回っていますが、５ポイント以内でもあり、有意のある差ではないと考えます。種目別では、「握力」「立ち幅とび」が全国を若干上回っており、「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20ｍシャトルラン」「50ｍ走」が、全国を若干下回っています。また「ソフトボール投げ」については、全国を 5.4 ポイント下回っています。

以上の結果より、体力、能力面で全体的な大きな課題は無いと思われます。むしろ、男子は全国より５ポイント以上上回る種目が多数あります。学校だけでなく、地域でスポーツに親しんでいる児童も多く、一定の運動量がある状況が結果に影響していると考えられます。「ソフトボール投げ」については、男女とも全国を下回っています。全国の傾向としても「ソフトボール投げ」の記録が年々低下しているのが大きな課題となっています。ボールを投げる遊びが減少してきている実態があり、投げるという動作が定着していない点も関連しているように感じます。本校といたしましては、今回の結果を参考とし、今後の体育の授業や体力づくり取組んでいきたいと考えています。

質問紙調査より（各回答の割合は％で表されています）

質問紙調査については、全国の割合と比較した場合の顕著な結果についてお知らせします。

質問：「自分の体力に自信がありますか。」では、男子、女子とも全国と比較すると、「自信がある」「やや自信がある」の肯定的な回答率が低かったです。特に女子は 28.6％で、全国より約 20％下回っていました。ただし、質問：「あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか。」では、男子、女子とも「大切」「やや大切」の肯定的回答が 100％。また、質問：「中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいですか。」に男女とも「思う」が約 85％で全国を上回り、運動を行うことについては、児童の前向きな考えが見られます。質問：「体育の授業は楽しいですか。」では、男女とも「楽しい」「やや楽しい」の肯定的回答がほぼ 100％に近く、全国を上回っていました。関連した質問内容で、「体育の授業で、できなかったことができるようになったきっかけ、理由」について、「友だちに教えてもらった」や「先生や友だちのまねをした」の回答が、全国を大きく上回っていました。質問：「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。」や「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」についても肯定的な回答率が全国を上回っていました。ただ、質問：「自分には良いところがあると思うか。」については、肯定的な回答が全国を下回っており、全国学力・学習状況調査（6 年生実施）における質問紙調査と同様の傾向がありました。今後は、自尊感情をもっと高めていくことを大切に教育活動を進めていきたいと考えています。